

差出人: NewsMail - metaFrontier.jp, LLC <newsmail@metafrontier.jp>  
送信日時: 2013年11月8日金曜日 4:41  
宛先: info@metafrontier.jp  
件名: メタフロンティア ニュースメール Vol.20 (2013/11/8)

各位

いつもお世話になっております。  
メタフロンティア合同会社の柴田賀昭です。

弊社が関わる業界団体の活動に関し、ファイルベース関連のトピックやセミナー情報、  
その他各種ご案内などを不定期にてお届けいたします。

本メールの転送はご自由です。まわりにご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、  
どうぞ遠慮なくご共有ください。

また配信停止を希望される方は、お手数ではございますが本メールに対して返信操作を  
して下さい(宛先: newsmail@metafrontier.jp)。その際、一行目に「配信停止」と記入  
していただければ自動的に削除されますので、どうぞ遠慮なく。

---

#### ◆目次

- 柴田賀昭の「ちょっとお茶でも。。。」
- AMWA(Advanced Media Workflow Association) 発
- EBU(European Broadcasting Union) 発
- FIMS(Framework for Interoperable Media Systems) 発
- SMPTE(Society of Motion Picture and Television Engineers) 発
- その他
- メタフロンティアからのお知らせ

---

#### ◆柴田賀昭の「ちょっとお茶でも。。。」

- 第8回 ” 偶然？それとも必然？”

20世紀最大の天才と言えばアインシュタイン、そして相対性理論と言えば、その彼が、  
当時(20世紀初頭)、誰も考えもしなかった高度な理論を唐突に思い付き、発表したもの  
といったイメージをお持ちの方も多いかと思います。

実は柴田も以前はそのような印象を持っていたのですが、ふと手に取った本[1]の中の、  
「アインシュタインの特殊相対性理論は、アインシュタインがいなくても、二年以内に  
誰かが発見しただろうと言われている。」といったフレーズが気になっていたもので、  
この機会にググって見たところ、「もしも、アインシュタインさんが存在してなかったら」  
なんて議論を見つけました[2]。その歴史的経緯の詳細は[3]に譲ることとして、簡単に  
言えば、19世紀末から20世紀初頭にかけて従来のニュートン力学では説明が付かない  
現象が多数観測され、それを説明(辻褃合わせ!)しようとする様々な提案がなされて  
きた。その中で、それまでに知られていた光速不変の原理なども勘案した最も自然な  
“辻褃合わせ”だったのが偶々、アインシュタインが提案した「特殊相対性理論」だった  
とのことのようです。

さて、今世紀初頭で世の中に最も大きな影響を与えた天才として(分野は異なりますが)、  
アップル創業者のスティーブ・ジョブズの名前をあげることに異論はないと思います。  
特に今日の同社のモバイル端末の先駆けのとしての iPod は、音楽コンテンツの提供方法  
をそれまでの CD からオンラインへと抜本的に変革する大きな切り札となりました。

そこでよく iPod と比較されるのが、ソニーのウォークマンです。曰く、「なぜソニーは  
アップルに負けてしまったのか。」云々。

実は柴田が前職のソニーにおいて IT/マルチメディア分野に異動した際に最初に手掛けたのが、この音楽ダウンロード配信システムでした。とは言え実際に試作したのは、単にワークステーション内に保存した音楽ファイル(ATRAC 形式)を手元の(ATRAC デコーダボードを装着した)PC へファイル転送(FTP)で持ってきて、その場で再生するといったシロモノに過ぎませんが。

これは元々は、その後に本格的に開発することとなったインターネットカメラシステム(今日でいうところのウェブカメラ)に向けた練習として開発したものでしたが、この経験を通じてオンライン音楽配信にも興味を覚え、その頃開催された社内の新規ビジネスプランコンテストに「オンライン MD(ミニディスク)ビジネス」なんてタイトルで応募したこともありました。

そのような経緯もあって、近くの部署がやっていたオンライン音楽配信の取り組みを付かず離れずして様子を伺っていたのです。今となっては“知る人ぞ知る”でしょうがソニーミュージックエンターテイメント(SME)はアップルよりも早く、1999 年末には“bitmusic”という名称の音楽配信サービスを開始しています(ちなみにアップルの iTunes Music Store(iTMS)が開始されたのは 2003 年のことです)。そして、そこに至るまでの 90 年代後半において、同部署では、「いかに違法コピーを完全に防止するか。」が最大の課題として議論されていました。

音源を持つ SME からのメンバーが議論の中心でしたからそれは当然のこと。しかしながらセキュリティ(著作権管理技術)と使い勝手はまさにトレードオフの関係にあり、セキュリティを強化すればする程、その使い勝手は悪くなってしまいます。実は先述したビジネスプラン提案に盛り込んだ著作権管理技術のアイデアは、MD が採用していたシリアルコピーマネジメントシステム(SCMS)をそのまま展開すればよからうというものでした。これは、SCMS は既に業界に広く受け入れられていた訳ですから、ネットだけ更に高度なセキュリティを施してもあまり意味がないのではないかと、といった発想から提案したものでしたが、当時の「違法コピーを絶対撲滅!」といった雰囲気の中では全く顧みられることもなく一蹴されたようです(もちろん同提案は落選しました^\_^;)。

と言いますのも、当時の音楽業界の最大の課題が違法ダウンロード問題。特に P2P(Peer-to-Peer)ファイル共有ソフトの先駆けである Napster が登場するや否や、いわゆる MP3 音楽ファイルの違法共有がますます加速されて業界の死活問題となり、どこの音楽会社も非常に神経を尖らせていた時期だったからです。

このような状況を垣間見ていましたので、iTMS が出現した時に最初に思ったのが、「なぜ米国の音楽会社は iTMS への楽曲提供を認めたのか?」ということでした。良く知られるように iTMS は CD-R への音楽ファイルコピーを認めるなど、それまで検討されてきた著作権管理技術に比べると非常に緩やかな技術です。そして先述した状況から類推すれば、音楽会社としてはとてもそんなものを受け入れられる筈はないだろうと考えていました。なのになぜ、です(事実、日本ではこの部分が最後まで足枷となり、iTMS のサービス開始は大幅に遅れることとなりました[4])。

そしてその時に小耳に挟んだのが、「あの”スティーブ・ジョブズが”頭を下げて”お願いに回った。」との話でした。今でこそ彼は伝説の人物ではありますが、当時はまだ“知る人ぞ知る”といった存在。尤もいわゆるクリエイターの間では“Mac の教祖”として既に絶大の人気を誇っていました(そう言えば”ピュアに技術の議論をしている”SMPTE ですら、Mac の利用者比率はかなり高いものがあります)。そしてそれに並行して、彼の高慢ちきで唯我独尊の性格(?)もよく知られているところでした。

既に業界ではカリスマ的存在であった“あの”スティーブ・ジョブズが頭を下げたこと、これは音楽会社のトップとしても大きく心を揺さぶられたに違いありません。それにも増してビジネス的見地からも、MP3 違法コピーが業界に蔓延する中、100%の満額回答でなくとも何かしらの秩序を早急に市場に導入したいと考えていたまさにそのタイミングにうまく合致したとも言えます。

ところで先述した「頭を下げたスティーブ・ジョブズ」の話、実は 2005 年末のことですが、とある勉強会で、日本で iPod を大流行させた立役者である当時のアップルコンピュータ社長の前刀禎明氏の講演を聞く機会があり、ソニーからの参加者が柴田だけだったことや、

その勉強会を主催したスタッフの一員として“場を盛り上げたかった”意図もあって、質疑応答の際にその話の真偽を同氏に直接ぶつけてみました。すると(スティーブをよく知る)彼曰く、「それは絶対にありえない！」とのこと。ただその時に、彼の眉毛がひくひく動いていたことを見逃しませんでした(^;:;)。

まあその話の真偽はともかく、結局はこの話も、「天才スティーブ・ジョブズが誰も考えもしなかった画期的な音楽配信エコシステム(iPod + iTunes)を唐突に思い付き、市場投入した。」のでは決してなかった訳です。

つまり、アインシュタインであれスティーブ・ジョブズであれ、一人の天才が“無”から唐突にとつともなく偉大な成果を成し遂げたのではなく、もしもそれまでに様々な積み重ね、言い換えれば“舞台設定”が着々と整えられ、その延長上において“その彼”をして最後のトリガーを引かせることになったというのが事の真相であるような気がしており、その意味で、仮にあのタイミングでスティーブ・ジョブズがいなかったとしても、早かれ遅かれ別の人物が登場して音楽配信ビジネスを牽引していたようにも思えるのです。

もちろん、このことはアインシュタインやスティーブ・ジョブズの業績に味噌をつけるものではありません。アインシュタインによるその後の一般相対性理論への展開や、ジョブズによる iPhone や iPad の導入は、まさに彼らが天才であったことを力強く物語っていると思います。ただその最初の“トリガー”において、それが彼らだったのは“偶然”(それが別の誰かであったとしても全く不思議でなかった)と思われる一方で、脈々と続く歴史の流れの中で(何かしら大きな力が働いて^;:;)彼らをしてそれをやらせしめた“必然”であったような気もしてしまうのです。

どの分野においても、ブレークスルーを成し遂げた当の本人が世間の注目を浴びるのは当然のこと、ただそこに至るまでの流れをちょっと引いて俯瞰してみると、それぞれの話の展開には前もって準備されたシナリオに基づいた“必然性”のようなものを感じるものの、それを演じる役者自身は、まさに“偶然”何かが舞い降りてきて“その彼”をしてその役割を果たすよう仕向けられたような。ふと、「この世は舞台、ひとはみな役者。」といったシェークスピアの台詞を改めてかみしめているところです。

[1] <http://www.shinchosha.co.jp/book/124806/>

[2] <http://okwave.jp/qa/q8297361.html>

[3] [http://taste.sakura.ne.jp/static/farm/science/theory\\_of\\_relativity.html](http://taste.sakura.ne.jp/static/farm/science/theory_of_relativity.html)

[4] <http://www.asahi.com/tech/apc/040729.html>

#### ◆AMWA(Advanced Media Workflow Association) 発

- これまでの RAND-Z に加え、一般的な RAND(Reasonable and Non-Discriminatory) も選択肢に加えた新たな特許ポリシーが発表されました。

<http://us7.campaign-archive2.com/?u=8da587f1beeda2c1521c2e9b3&id=14143479c3&e=516a2e92a3>

#### ◆EBU(European Broadcasting Union) 発

- 11/25(月)-26(火)の日程で Geneva で開催予定の“UHDTV: VOICES & CHOICES”が引き続き参加者を募集中です。

[http://tech.ebu.ch/events/uhdtv13?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/events/uhdtv13?newsletter_november2013)

(プログラム)

[http://tech.ebu.ch/docs/events/uhdtv13/uhdtv-vc\\_programme\\_web.pdf](http://tech.ebu.ch/docs/events/uhdtv13/uhdtv-vc_programme_web.pdf)

- EBU Technology & Innovation で検討中の技術項目とその概要をまとめた技術ファクトシートが更新されました。

[http://tech.ebu.ch/publications/factsheets?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/publications/factsheets?newsletter_november2013)

- Eurovision Young Dancers 2013 を撮影した新たなテスト映像素材(4K x 2Cam, side-by-side, 50fps)が追加されました。

[http://tech.ebu.ch/testsequences/eyd?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/testsequences/eyd?newsletter_november2013)

- 来年 1/28(火)-30(木)の日程で Geneva で開催予定の“Production Technology Seminar (PTS2014)”が、まもなく参加者の募集を開始します。

[http://tech.ebu.ch/events/pts2014?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/events/pts2014?newsletter_november2013)

- “UHDTV in Europe”なるタイトルの無料のオンラインセミナーが、12/6(金) 22:00 (日本時間) から開催されます。

[http://tech.ebu.ch/events/webinar-uhdtv?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/events/webinar-uhdtv?newsletter_november2013)

◆FIMS(Framework for Interoperable Media Systems) 発

- “Announcing FIMS 1.1”なるタイトルの無料のオンラインセミナーが、11/21(木) 23:00(日本時間) から開催されます。

[http://tech.ebu.ch/events/webinar-fims?newsletter\\_november2013](http://tech.ebu.ch/events/webinar-fims?newsletter_november2013)

◆SMPTE(Society of Motion Picture and Television Engineers) 発

- SMPTE Newswatch 2013 年 10 月 14 日号が発行されました。

[http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001qNpDsyS1aEK7gkdTVMFckbN6rJOACuS8FeBWd0G4\\_VC\\_EP5GhulC9JSReXBhriYAM20tq2Y\\_s2hCiM3k7z6C5YxqZaxztPoHFsAjBkFxlHjgJznG\\_-5l01IhyE0ZkopzehZaqhew48ls2UTqQGNsPQ2D\\_QI024Np-igKa3ArseL6syFqUpGhjdIfA-YPqlwL-d530G39chfKUnY5a1ZmesaJaAw4FXjHtH5Y4U9ZzxDszpCpjK2HchVLw8FQ0jLvrA4\\_XFMdEv3ioXmm23UYOursv0ta6moJ](http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001qNpDsyS1aEK7gkdTVMFckbN6rJOACuS8FeBWd0G4_VC_EP5GhulC9JSReXBhriYAM20tq2Y_s2hCiM3k7z6C5YxqZaxztPoHFsAjBkFxlHjgJznG_-5l01IhyE0ZkopzehZaqhew48ls2UTqQGNsPQ2D_QI024Np-igKa3ArseL6syFqUpGhjdIfA-YPqlwL-d530G39chfKUnY5a1ZmesaJaAw4FXjHtH5Y4U9ZzxDszpCpjK2HchVLw8FQ0jLvrA4_XFMdEv3ioXmm23UYOursv0ta6moJ)

- SMPTE Monthly Newsletter 2013 年 10 月 15 日号が発行されました。

[http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001rD-j0QuHnZ6htDZm3o4YXrk8ZmN6d5bHB99LWyomQtBFGpJEn6Tcxo5ZtnXOUL6gaY0FCusyXrHqnGXcswjio00CqxoUh-297UDzzCica4mboIoFG0cuxKy\\_c-wU8aEw15uQtQwbXsFpGEV-5HVIMN2BYoIWzf85mWizZHvaLmHwmT3Inp01Ki6DZJ1frKJThPDuZqiJdrUqrXBse3NAZ5vEvhnkaIR-phbPnqTcEA0jMnaz\\_-6-9zK0vfgbjRI-B\\_AFz7ZuKuq9fEJjaIjWaloIm0dzTRmdX3LiHASK2kmTUMVh5jTU8MeAf208NKIM8hs\\_0IQMWEAbL5DfiZpN-SPTdCtNpV5](http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001rD-j0QuHnZ6htDZm3o4YXrk8ZmN6d5bHB99LWyomQtBFGpJEn6Tcxo5ZtnXOUL6gaY0FCusyXrHqnGXcswjio00CqxoUh-297UDzzCica4mboIoFG0cuxKy_c-wU8aEw15uQtQwbXsFpGEV-5HVIMN2BYoIWzf85mWizZHvaLmHwmT3Inp01Ki6DZJ1frKJThPDuZqiJdrUqrXBse3NAZ5vEvhnkaIR-phbPnqTcEA0jMnaz_-6-9zK0vfgbjRI-B_AFz7ZuKuq9fEJjaIjWaloIm0dzTRmdX3LiHASK2kmTUMVh5jTU8MeAf208NKIM8hs_0IQMWEAbL5DfiZpN-SPTdCtNpV5)

- “Technical Differences between Professional Monitors, and How to Choose the Right One for the Job”なるタイトルのオンラインセミナーが、11/22(金) 2:00(日本時間) から開催されます。

<http://events.r20.constantcontact.com/register/event?oeidk=a07e88i04ijac210abd&llr=iwnzoxjab>

- SMPTE 標準化コミュニティ Munich 会合(2013/9/18-22)の活動報告が発行されました

<https://www.smpete.org/sites/default/files/SMPTE%20Standards%20Quarterly%20Report%202013-09.pdf>

- SMPTE Newswatch 2013 年 10 月 30 日号が発行されました。

[http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001gZhKK2h2Be\\_mkW00fNqJ2u9T5o1dt71rx4MdQpdwVpdTiqjdN3LBUstUC-0LjcvqTq915mACG7-DXzIdiJ7DjkelGxH-iquWUQv\\_NJ8LTlBm3wbEpbXkZdvyrhTC-oCTo8BV2\\_JfoNLj5syhF6SE06052SW3-4RQk7kmwIkqIfWukjiyxCrXCUMAYK8GrsioyLJ4gCRTOJLrKQMWh6kMFzIhtPdQxB-U2f9PW3kD-8bIhyrN41kipfMDXta3Meo9USFRzoh8K7uNfp4TQF3mg4CR79bImRFY9ipOAUf6C\\_RCAAGiN294eVZpBGDYwbj\\_CX3S\\_jcrMOZcqCsJapHBr7qgIjCZoSZ](http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001gZhKK2h2Be_mkW00fNqJ2u9T5o1dt71rx4MdQpdwVpdTiqjdN3LBUstUC-0LjcvqTq915mACG7-DXzIdiJ7DjkelGxH-iquWUQv_NJ8LTlBm3wbEpbXkZdvyrhTC-oCTo8BV2_JfoNLj5syhF6SE06052SW3-4RQk7kmwIkqIfWukjiyxCrXCUMAYK8GrsioyLJ4gCRTOJLrKQMWh6kMFzIhtPdQxB-U2f9PW3kD-8bIhyrN41kipfMDXta3Meo9USFRzoh8K7uNfp4TQF3mg4CR79bImRFY9ipOAUf6C_RCAAGiN294eVZpBGDYwbj_CX3S_jcrMOZcqCsJapHBr7qgIjCZoSZ)

- SMPTE Monthly Newsletter 2013 年 10 月 31 日号が発行されました。

[http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001\\_3wh4u6-fr\\_TfVPadZrTQEWwes96FGLDfEeb5DUQts\\_aC1\\_yYA6\\_guT9ktW13aME2HiEoCIW1VnununrW8-zgXV\\_5e6FJSYah6EaJM2iDN\\_rS\\_8PWAzqxnEDNzNqF0qn4wFLKirEmgEH1A6NMNDYHVBXb1ZwIAk8Qfxj3Rky8hfgBqb9-OCMRM5tDJ0VW249gQ0shA843B8IxdADZ\\_7YvaGb4p0ezskt-IMLWXDoH1WDTyIePkhMqgbUBMPVd139c0vkqbHxGfKtksbZdVcWmny160uejmOKIHwn47s5-ZvAzGsyVm1-mn03NhnU1Uh3TaVctRDm2nOR-EPOJF6C5t00wsGuri](http://campaign.r20.constantcontact.com/render?llr=iwnzoxjab&v=001_3wh4u6-fr_TfVPadZrTQEWwes96FGLDfEeb5DUQts_aC1_yYA6_guT9ktW13aME2HiEoCIW1VnununrW8-zgXV_5e6FJSYah6EaJM2iDN_rS_8PWAzqxnEDNzNqF0qn4wFLKirEmgEH1A6NMNDYHVBXb1ZwIAk8Qfxj3Rky8hfgBqb9-OCMRM5tDJ0VW249gQ0shA843B8IxdADZ_7YvaGb4p0ezskt-IMLWXDoH1WDTyIePkhMqgbUBMPVd139c0vkqbHxGfKtksbZdVcWmny160uejmOKIHwn47s5-ZvAzGsyVm1-mn03NhnU1Uh3TaVctRDm2nOR-EPOJF6C5t00wsGuri)

◆その他

- 創刊 54 年となる古参の業界誌である Broadcast Engineering が 10/31 付で休刊となりました。

[http://www.inbroadcast.com/Broadcast\\_Engineering\\_To\\_Cease\\_Publication.asp](http://www.inbroadcast.com/Broadcast_Engineering_To_Cease_Publication.asp)

- Mr. MXF こと Bruce Devlin 氏 (AmberFin CTO) による無料オンラインセミナー “Bruce’s Shorts - Tip of the Week...” (日本語字幕付) が、好評配信中です。

<http://www.amberfin.com/shorts-jp/>

◆メタフロンティアからのお知らせ

---

(新着情報: <http://metafrontier.jp>)

- 柴田賀昭が SMPTE で議長を務める「UMID 応用プロジェクト」において提案された、SMPTE RP 205 (Application of Unique Material Identifiers in Production and Broadcast Environments)改定において、同文書の初稿が完成し、FCD 投票事前レビューが開始されました。  
[https://kws.smpete.org/kws/groups/30mr/documents/ballot\\_documents/document?document\\_id=25476](https://kws.smpete.org/kws/groups/30mr/documents/ballot_documents/document?document_id=25476)  
なお、上記へのアクセスには SMPTE 標準化コミュニティへの参加登録が必要です。
- 10/22(火)-24(木)の日程で Hollywood で開催された 2013 年 SMPTE 年次技術会議において、弊社の柴田賀昭が、“Latest Status of UMID Application Project in SMPTE”なるタイトルにて講演をおこないました。  
<http://metafrontier.jp/drupal/sites/default/files/papers/umidApp4SmpeteTechConf131023.pdf>

今回のご紹介は以上です。

ここまでお読み下さり、ありがとうございました。

---

本メールは、弊社スタッフがこれまでに名刺交換させていただいた方や、弊社 HP からのお問い合わせの際、アドレスをご登録いただいた方などにお送りしております。

配信停止を希望される方は、お手数ではございますが本メールに対して返信操作をして下さい(宛先: [news@mail@metafrontier.jp](mailto:news@mail@metafrontier.jp))。その際、一行目に「配信停止」と記入していただければ自動的に削除されますので、どうぞ遠慮なく。

また本メールを転送などで受取られた方で、今後の受信を希望される場合は、一行目に「配信希望」とご記入の上、お名前、会社名(あるいは所属組織名)を添えて下記宛先にご連絡いただければ、次回から送信させていただきます。

また本メールに関するご意見、ご感想などがございましたら、こちらも下記宛先にお送り下さい

(宛先: [request4news@mail@metafrontier.jp](mailto:request4news@mail@metafrontier.jp))。

編集/発行 : メタフロンティア合同会社 柴田賀昭  
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-13-12 アーバンビル 6F  
URL: [www.metafrontier.jp](http://www.metafrontier.jp)

Copyright (C) 2012-2013 metaFrontier.jp, LLC. All Rights Reserved

---